



# 株式会社鳥取メカシステム

## 【 会社概要 】

1971年創業の林鉄工所を前身とし、現在は自動機や精密部品の設計から製造、メンテナンスまでを一貫して行う。電子・電機、機械、医療・薬品、衣料、食品分野など多様な業界からの依頼を引き受けている。

顧客の技術・機密情報を守るために工場独自のセキュリティ体制を取るなど、安心して依頼ができる盤石な体制を築いている。



会社HP:<https://torimeka.jp/joboffer/>



会社名:株式会社鳥取メカシステム

業種:生産用機械器具製造

場所:〒689-1112

鳥取市若葉台南7丁目1番31号

### 【誰に向けて何を提供している会社なのか】

誰に?:多様な業界、特にパソコンや自動車の製造、医療メーカーなどの企業に向けて

何を?:自動機の企画、設計からアフターサポートまでを一貫して行う



## 経営者インタビュー

### 【企業の強み】

企画・設計から製造、また必要に応じて設置や点検などのアフターフォローまでをすべて自社で行っているため、一貫したサポートができることが鳥取メカシステムの強みです。弊社は**国外の企業とも取引があるのですが、物理的に離れているお客様であってもサービスに十分満足いただけるのはその強みが大きく影響しています。**例えば、ベトナムの企業に自動機を設置する際、お客様に納品したものと**同じ機械を自社でも保管しています。**これにより、万一機械にトラブルが発生した場合、鳥取にある同型の機械を調べることで、迅速な問題解決が可能となります。

### 【「職人魂」とは何ですか?】

企業紹介の資料にも記載している、「**職人魂**」という言葉を大事にしています。鳥取メカシステムで働く技術者は全員「職人」であると思っています。製造業と聞くと、一般的には同じことの繰り返し、単純作業といったイメージを持たれるかもしれませんが、**鳥取メカシステムは作る製品が毎回大きく異なるため、非常にクリエイティブであることが求められます。**だからこそ技術者には現状に満足せず、新たな技術やスキルについて学び続けてほしいと思っています。そのために資格取得制度を用意しているのはもちろんですが、最も学びとなるのは日々の業務での教え合いだと考えています。鳥取メカシステムには20歳から70歳を超える幅広い世代の技術者が働いており、縦の関係も横のつながりも強く、プライベートでも交流することがあります。

### 【印象的な仕事について】

最も印象的な仕事は、40m級の巨大な液晶パネル装置を製造したことです。鳥取メカシステムで手掛けた中でも最も大がかりで、たくさんの社員の協力のもとで完了したことが記憶に残っています。**普段から色々な業種・規模感の仕事を行って行って、どの工程からスタートするのも案件によって異なります。**前年度(2022年)は合計150件以上を請け負った実績があります。同じものを作り続ける仕事ではないため、日々経験を積み上げていくことが必要だと感じています。

### 【学生に求めるもの】

多くの社員が感じているのは「学校で学んだことと実際の仕事は大きく異なる」ということです。これはどのような業種でもいえることですが、**学校で専門的な知識を学んでいたとしても、いい意味でそれらを一度リセットした状態で新たに吸収していく気持ちでいた方が**良い経験を詰める**のではないかなと思っています。**きっと知識だけでは通用しないような場面はどこかで直面するので、先入観にとらわれず、素直な気持ちで色々な経験を積むことがスキルアップにつながるのではないのでしょうか。



役職:代表取締役

林 正太郎さん



## 社員インタビュー

### 河上 悠也さん

年齢:34歳  
所属:設計開発課  
入社歴:入社4年目



#### Q 鳥取で就職した理由は何ですか？

「地元で働きたい」という思いから鳥取での就職を決めました。鳥取は暮らしやすく「自分らしい生活」が送れる環境だと思います。実家が近いのですぐに帰省できる点も便利だと感じています。



#### Q 鳥取メカシステムならではの魅力

最も他社と異なる点は、設計、開発、組み立てという流れで一連の作業を行うことです。私の周りでは、他社ではなかなか同時に担当することができない設計や開発に対し興味を持つ人が多いです。様々な業種の新しい製品を担当するという特徴も相まって、常に新しい刺激がある仕事だと感じています。

#### Q 技術の身に着け方

独学で学ぶこともあります。一番多いのは、先輩を見て学び、まずは実際に手を動かしてみることです。それ続けていくうちに頭に入り、最終的には図面を見るだけで理解ができるようになりました。日々の業務の中では、この道30年の大先輩から直接教えてもらうこともあり、少しずつ技術を身に付けてきました。



#### Q 気を付けていること

仕事での「失敗」を次に活かすことです。最初はミスばかりでしたが、誰にでもあることなので、いかにその失敗を活かして次の成功に繋がられるかが大事だと思っています。特に最近は、**できるだけ少ない回数の失敗でより多くの成功に繋げる**ことを目指しています。ミスをした時は落ち込むこともありますが、失敗を通じて学ぶことも多いので、前向きに捉えるよう心掛けています。

#### Q 学生時代の経験で、今の仕事において役に立っていること

学生時代にさまざまな年代の方と出会い、コミュニケーションを取っていく中で「人との関わり方」を学べたことが、今の仕事にとっても活かされています。**仕事では年代も考え方も異なる人と協力しながら進めていかなければならないことが多い**ので、コミュニケーション力がとても必要とされます。



## 学生インタビュー

佐野将大さん 農学部 生命環境農学科 3年

技術が重要であるという点や、失敗の中で成長していく様子に鳥取メカシステムの「職人魂」を感じました。また、この業界では学ぶ意欲と真剣な仕事への取り組みが重要であると学びました。その分、ものづくりが好き・良いものを作りたいという思いを持つ人にとっては、様々なことを学びながら仕事ができる素晴らしい環境なのではないかと思いました。私も熱い思いを持って仕事をしようと思います！

